

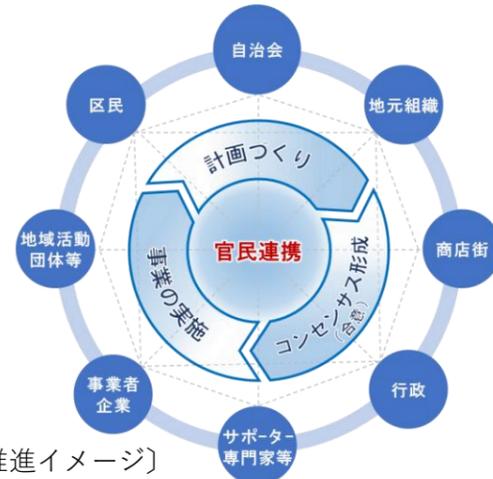
将来像の実現に向けて

高砂駅周辺のまちの将来像を実現するため、多様なつながりを持ち、まちづくりを継続していきます。

まちづくりの取組を進めていくためには、**住民**(区民・自治会・商店街等)、**民間事業者**、**行政**が連携して取組を進めていくことや、調整が円滑に進められる仕組み、話し合いの場を整えることなど、**官民連携**による取組(地域の課題解決を地域が主体となって行うエリアマネジメントなど)が必要です。

官民多様な主体が連携しながら、具体的な**計画**を検討し、関係者の**コンセンサス形成(合意)**を得て、まちづくりの**事業を実施**するプロセスを繰り返すことにより、高砂地区の将来像の実現を目指します。

〔高砂地区のまちづくりの推進イメージ〕



高砂地区

まちづくり勉強会ニュース

第8号
令和7年3月

令和7年2月に第8回の勉強会を開催しましたので、その内容をお伝えします。
なお、この会は、高砂地区開発協議会主催の勉強会となります。

第8回 高砂地区まちづくり勉強会

日時：令和7年2月26日(水)
場所：高砂地区センター 3階ホール
参加者：勉強会会員 22名 (自治町会及び商店街からの推薦者及び一般公募者)
会員以外 6名 (当日の自由参加者) 合計 28名
内容：『高砂地区まちづくり方針(仮称)について』をテーマに開催



〔第8回勉強会の様子〕

その他 ご意見・感想など(勉強会終了後のアンケートなどの抜粋)

勉強会を終えての感想

- ・勉強会の成果が分かりやすくまとめられており、少しずつ実現させたい街の姿が見えてきた。
- ・若い世代の意見をいかに反映させていくかが、今後のまちづくりにおける一つの課題だと感じた。

その他のご意見・ご要望など

- ・駅前拠点などにお住いの方々の意見を聞くことができる機会があればよいと感じた。
- ・まちの掲示板などに、今後のまちづくりの案内(情報)を掲示して進めてほしい。

『高砂地区まちづくり方針(仮称)』の取りまとめを行いました

高砂地区まちづくり勉強会では、約2年をかけて、高砂地区のまちづくりの**具体化**に向けて、地区の**現状と課題**を踏まえ、まちづくりの**方針**や**取組**などについて、各回テーマを決めて勉強し、意見交換を行ってきました。

そして、当日は、これまでの勉強会の成果である「高砂地区まちづくり方針(仮称)」について、内容の確認を行い、**勉強会の成果として取りまとめ**ました。

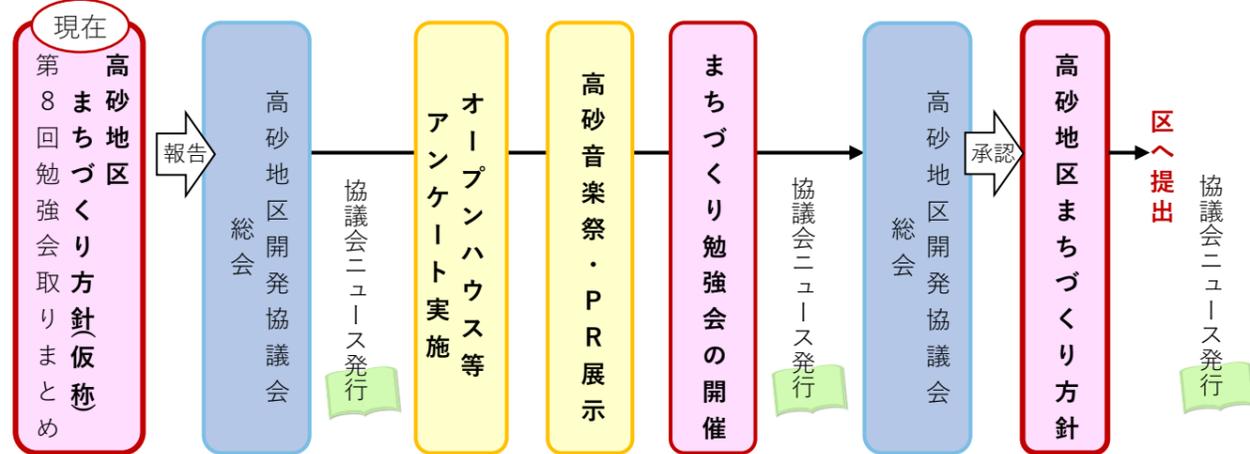


詳細は区ホームページまたは二次元バーコードからご確認ください。

次年度以降の進め方

『高砂地区まちづくり方針(仮称)』を高砂地区開発協議会の総会で報告し、その後、オープンハウスや高砂音楽祭等において、**地域への情報発信**や**意見集約**を行います。そのうえで、あらためて勉強会を開催します。

その後、協議会の総会を経て、『高砂地区まちづくり方針』を**地域のまちづくり提案**として、**区へ提出する予定**です。
※なお、活動内容やスケジュールについては、今後、変更の可能性もございます。



発行元：高砂地区開発協議会 会長 関根芳夫

協力：葛飾区 都市計画課 高砂地域整備担当係 黒崎、松本、鈴木

<連絡先> 電話：03-5654-8344(直通) FAX：03-3697-1660

HP：「高砂地区開発協議会について」



(HPはこちら)

高砂地区まちづくり勉強会の経緯

葛飾区策定の「高砂駅周辺地区まちづくりガイドプラン」等を基に、これまで7回の勉強会を開催し、意見交換を行ってきました。そして第8回勉強会において、これまでの成果の取りまとめを行いました。

<p>第1回 「勉強会の概要と今後の進め方」 勉強会の趣旨やガイドプラン等について説明し、高砂地区の現状と課題、まちづくりのコンセプト等を共有しました。</p>	<p>第5回 「まちづくりを見据えた道路ネットワークを考える」 高砂地区の道路ネットワークの現状や課題を勉強したうえで、将来のまちづくりを見据えた道路ネットワークについて意見交換を行いました。</p>
<p>第2回 「連続立体交差事業とまちづくりを考える」 連続立体交差事業とあわせて進めているまちづくりについて事例を参考に勉強し、高砂地区のまちづくりの方針(案)について意見交換を行いました。</p>	<p>第6回 「防災(地震・水害)まちづくりを考える」 高砂地区の防災(地震・水害)に関する現状や課題を勉強したうえで、防災まちづくりについて意見交換を行いました。</p>
<p>第3回 「都市基盤の整備とまちづくりを考える」 交通ネットワーク、駅前広場・アクセス道路の役割及び自然環境の活用等について勉強し、まちづくりの取り組むべき内容の方向性について意見交換を行いました。</p>	<p>第7回 「勉強会の振り返り・取りまとめの方向性」 勉強会の取りまとめの方向性について共有するとともにエリアマネジメント等の取組について勉強し、意見交換を行いました。</p>
<p>第4回 「拠点エリアのまちづくりを考える」 駅前拠点・駅東拠点・創出用地の3つの拠点エリアの特性や検討テーマ等について事例を参考に勉強し、拠点エリアのまちづくりの方向性について意見交換を行いました。</p>	<p>今回 「高砂地区まちづくり方針(仮称)について」 勉強会の成果を、「高砂地区まちづくり方針(仮称)」として取りまとめを行いました。</p>

まちづくりの取組

具体的なまちづくりの取組について多くの意見を出し合い、まちづくりの方針に沿って整理しました。

高砂地区の土地利用構想図とまちづくりのイメージ



川辺のテラスイメージ (中川かわまちづくりより)



都営住宅の建替による創出用地活用のイメージ (東京街道団地・東大和リビングテラス整備イメージ)

交通

方針1 だれもが安心して回遊できるまち

- 取組1-1 人を中心とした交通環境の創出
- 取組1-2 自転車・自動車利用環境の向上
- 取組1-3 道路ネットワーク・幹線道路の整備
- 取組1-4 公共交通網の充実
- 取組1-5 新たな交通機能の検討



人・自転車・車それぞれが安全で快適な道路 (区内整備例：補助284号線 東新小岩南区間(幅員16m))



【当日の意見】

- ・新車庫が東西動線を遮断してしまうため、車庫横断ルート確保は必ずしてほしい。
- ・新金線が旅客化され、新駅ができた際の京成高砂駅との連携を考えたまちづくりが必要ではないか。

活性化

方針2 歩いて楽しく、訪ねてみたい賑わいのあるまち

取組2-1 3つの拠点エリアと拠点連携のまちづくり



取組2-2 歩いて楽しくなる交通環境の向上 取組2-3 訪ねたくなるまちづくりの検討



ベンチや季節の花による憩いの場
緑豊かなコミュニティ道路

住環境

方針3 昔ながらの情緒が残る文化的で住みやすいまち

取組3-1 安心して遊び憩える公園の整備 取組3-2 住みやすいまちづくり



高砂天祖神社例大祭
高砂音楽祭

【全体に対する当日の意見】

- ・幹線道路の幅員は、広くて困ることはないの、しっかりとした道路を整備してほしい。
- ・高砂駅を立ち寄りたい魅力的なまちにしていかなければならないと思う。
- ・少子高齢化に対応したまちづくりを進めていくことが重要である。
- ・インバウンド需要が拡大している情勢を踏まえたまちづくりを考えていく必要がある。
- ・10年後、20年後に主役になる若い人の参加や意見がまちづくりに反映できると良いと思う。若い人たちの意見収集を活発に行う必要があるのではないか。
- ・一時的に住む人を増やすまちづくりではなく、代々住み続けてもらえるようなまちづくりを行うことが大切である。

高砂地区の道路ネットワーク概念図

- 道路ネットワークに関する5つの分類
- ① 駅周辺の利便性と回遊性のための道路※リングロード
 - ② 3つの拠点エリアの連携と回遊性のための道路
 - ③ 連続立体交差事業に伴う道路
 - ④ 防災の観点から見た道路
 - ⑤ 水辺空間と連携する道路
- 幹線道路(都市計画道路)
高砂駅周辺地区まちづくりガイドプランの交通ネットワーク構想
交差道路



【当日の意見】
かぎ形の③道路を線路に沿ってまっすぐにできないか。

- 一時集会所
 - 指定避難所(区立学校)
 - 緊急医療救護所
 - 洪水緊急避難建物
 - 公園・児童遊園
 - 防災活動拠点
 - 消防団の資機材倉庫
 - 避難場所(都営高砂団地一帯)
- ※上記凡例は現在の位置を表示したものです。

緑・水辺

方針4 豊かな自然を活かした多世代が憩えるまち

取組4-1 緑を感じられる住宅地の整備 取組4-2 水辺を活かしたまちづくり



中川かわまちづくりイベント
TOKYO mizumachi (東京ミズマチ)

防災

方針5 災害にも強い安全・安心なまち

- 取組5-1 防災を見据えた道路の整備
- 取組5-2 災害時を見据えた駅前広場の整備
- 取組5-3 災害時を見据えた公園の整備
- 取組5-4 地域の防災性の向上



道路拡幅・行き止まり道路解消・建替で防災・減災



地域の防災拠点となる公園・小広場を整備

【当日の意見】

- ・駅前や駅東(現車庫)、創出用地(高砂団地)の拠点エリアで、開発に合わせた避難建物・避難スペースの確保を検討してほしい。